

# 量子コンピューティング デバイス技術の最前線

近年の量子コンピュータ研究開発は目まぐるしい勢いで進められており、さまざまな方式において技術がステップアップしています。今回は、その中でも特に注目度の高いデバイス技術について、世界的に活躍している方々から最新の研究開発状況について講演いただきます。加えて、関連する分野からの一般投稿も募集します。量子コンピュータに関して幅広い議論ができる機会になるとともに、応用物理学会内でのコミュニティ形成のきっかけの一つになることを期待しています。

3月17日  
9:30~17:30  
(予定)

※開催時間は一般投稿数で前後します。

## 招待講演者と講演タイトル

樽茶 清悟 (理化学研究所)	シリコン量子コンピュータ開発の最前線
小坂 英男 (横浜国立大学)	超伝導量子コンピュータとダイヤモンド量子中継の融合による量子インターネットに向けた挑戦
蔡 兆申 (東京理科大学)	超伝導量子ビットの平面集積化
川上 恵里加 (理化学研究所)	ヘリウム液面上電子を使った量子ビット技術
寺井 弘高 (情報通信研究機構)	量子情報処理に向けた超伝導ナノワイヤ単一光子検出器の開発
青木 隆朗 (早稲田大学)	量子計算のためのナノファイバー共振器QEDデバイス技術

本シンポジウムは、一般投稿を募集します。  
関連する研究開発に携わる皆様からのご投稿を心よりお待ちしております。  
(登壇申し込みの際は、大分類：Sシンポジウム、中分類：T29 量子コンピューティングデバイス技術の最前線、を選択ください。)